

株式会社 日本ベル投資研究所 (ベルトーケン)

2012年7月1日

代表取締役 鈴木行生

第2期 事業報告書

1. 決算期 2012年6月期 (2011年7月～2012年6月)

2. 決算内容

- ・前期を上回る安定収益を確保し、一定の利益を上げることができた。
- ・社会貢献活動を主軸にしているため、役員報酬は取らない方針である。よって、役員報酬、配当は無い。
- ・納税、寄付のほかは、内部留保し、今後の活動資金として活用する。

3. 事業内容

- ・ I R (インディペンデントリサーチ) アナリストレポートを、原則四半期ごとに、15社について発行した。
- ・ 事業会社の企業経営、I R活動についてアドバイスした。
- ・ I R (インベスターリレーション) 会社から依頼された I R レポートを適宜執筆した。
- ・ 投資情報ポータルサイトに投資家の啓蒙に向けたコラムを継続的に執筆した。
- ・ 外部依頼の個人投資家向け講演会で適宜講演した。
- ・ 事業会社依頼で社内研修の講師を担当した。
- ・ 資産運用会社の内部監査 (I A) について継続的にアドバイスした。

4. 対外活動

- ・ 企業会計審議会 (金融庁) の臨時委員に就任し、I F R S (国際財務報告基準) の今後の対応に関する議論に参画した。
- ・ 東日本大震災からの復興支援として、震災復興支援 日本復活と投資を語る義捐金セミナー 「未来を創る子供たちの為にいま出来ることを」に参画した。

5. 事業成果

- ・ 当社のパートナー鈴木淳美との連携により、アナリストレポートを継続的に発行し、当社ブランドの認知度をかなり高めることができた。
- ・ レポートの配信について、有力サイトにネットワークを広げることができた。

### 6. 次期の課題

- ・ 引き続きアナリストレポートの発行と配信に力を入れる。
- ・ レポートの内容については、当該企業のビジネスモデルの解明に力を入れ、品質の向上に一層努める。
- ・ 日本における個人投資家の大幅な拡大に向けて、外部の組織と連携して、アナリストレポートの発行と啓蒙的な活動に一段と力を入れる。